

一般社団法人日本粘土学会 2021 年度第 1 回理事会・常務委員会合同会議議事録

日 時：令和 2 年 9 月 15 日（火）13:00～14:05

会 場：国際文献社パブリッシングセンター第 4 会議室および WEB 会議室

出席者：理事（24 名）小暮敏博、千野裕之（WEB）、中川昌治（WEB）、佐藤 努（WEB）、會澤純雄（WEB）、井出悠介（WEB）、伊藤健一（WEB）、小口千明（WEB）、亀島欣一（WEB）、黒田義之（WEB）、笹井亮（WEB）、寒河江竹弘（WEB）、地下まゆみ（WEB）、鈴木康孝（WEB）、高木慎介（WEB）、田村堅志（WEB）、手束聡子（WEB）、中戸晃之（WEB）、日比野俊行（WEB）、万福裕造（WEB）、宮元展議（WEB）、三好陽子（WEB）、毛利恵美子（WEB）、鈴木憲子（WEB）

常務委員（15 名）：小暮敏博、千野裕之（WEB）、中川昌治（WEB）、佐藤 努（WEB）、日比野俊行（WEB）、中戸晃之（WEB）、樽田誠一（WEB）、田村堅志（WEB）、森本和也（WEB）、佐久間博（WEB）、伊藤健一（WEB）、川俣 純（WEB）、小口千明（WEB）、手束聡子（WEB）、鈴木憲子（WEB）

監事（2 名）：月村勝宏（WEB）、志々目正高（WEB）

事務局：川島朝子

成立確認：WEB 会議にて開催し、音声に問題なく議事進行に支障がないことを確認した。

理事会 理事総数 27 名の半数 14 名、出席理事 24 名で理事会の開催は成立。

常務委員会 常務委員総数 15 名の過半数 8 名、出席常務委員 15 名で常務委員会の開催は成立。

## 審議事項

### 1. 2021・2022 年度副会長、筆頭副会長、常務委員長の選任（資料 1）

小暮会長より、定款第 21 条第 4 項の規定に基づいて 2021・2022 年度副会長として、中川昌治会員及び千野裕之会員を推薦することが説明された。その後、賛否を諮り、中川昌治会員及び千野裕之会員は、満場一致をもって 2021・2022 年度副会長として選任された。

次に小暮会長より、2021・2022 年度筆頭副会長として、中川昌治会員を推薦することが説明され、賛否を諮り、中川昌治会員は、満場一致をもって 2021・2022 年度筆頭副会長に選任された。最後に、小暮会長より、定款第 21 条第 4 項の規定に基づいて 2021・2022 年度常務委員長として佐藤努会員を推薦することが提案され、賛否を諮り、佐藤努会員は、満場一致をもって 2021・2022 年度常務委員長として選任された。

### 2. 2021・2022 年度代表理事の選任

佐藤常務委員長より定款第 20 条第 5 項の規定に基づき小暮敏博会長及び中川昌治筆頭副会長を 2021・2022 年度代表理事とすることが提案され、本議案について賛否を諮り、小暮敏博会長及び中川昌治筆頭副会長は満場一致をもって 2021・2022 年度代表理事に選任された。

### 3. 2021・2022 年度常務委員会委員（資料 2）

佐藤常務委員長より 2021・2022 年度常務委員会委員が提案され、本議案について賛否を諮り、次の各会員が満場一致をもって 2021・2022 年度常務委員会委員に選任された。

佐藤努（常務委員長）、小暮敏博（会長）、中川昌治（副会長）、千野裕之（副会長）、日比野俊行（粘土科学編集委員長）、中戸晃之（Clay Science 編集委員長）、樽田誠一（討論会実行

委員長)、田村堅志(企画委員長)、森本和也(参考粘土委員長)、佐久間博(広報委員長)、伊藤健一(会計委員)、川俣純(渉外委員)、小口千明(庶務委員)、手束聡子(庶務委員)、鈴木憲子(幹事)。

これより理事以外の常務委員が入室した。

#### 4. 委員会委員の選出(資料3)

佐藤常務委員長より学会賞等選考委員会、学術振興積立運営委員会、企画委員会、参考粘土試料委員会、広報委員会の各委員会委員候補が推薦され、原案通りに承認された。

#### 5. 2021年度事業計画年間スケジュール(資料4、5)

佐藤常務委員長より、資料にもとづき説明があった。広報はSNSを使った方法なども考えて欲しい。選挙は現状の封書でなく、電子システムによる方法を次回までに確率したい。来年予定されているICCもどのような開催になるか不明なので、渉外から積極的に情報を発信してもらいたいとの要望があった。

以上、議論の上事業計画年間スケジュールは承認された。

#### 6. 粘土科学討論会について

##### (1) 第64回粘土科学討論会について

樽田実行委員長より、現地開催をめざして準備を進めているが、状況によってはオンラインになるかもしれない。密を避けるために、広い会場などを確保しておく、またポスター発表が特に密になるので、オンライン開催を考える必要もあるとの見解が出された。佐藤常務委員長より、何通りかの方法を考えておく必要があるかもしれないので、常務委員会も協力していくことが提案された。オンラインで討論会を開催する場合、セキュリティの問題を十分に検討する必要があるが、ある程度は仕方がないかもしれないとの意見があった。また、他学会のオンライン開催状況がいくつか報告された。対面とオンラインを併用する場合は費用が通常よりもかかるので、検討が必要であるとの意見が出された。

##### (2) 第65回粘土科学討論会について

笹井実行委員長より、現在のところ現地開催を念頭に準備を進めているとの報告があった。

以上、議論の上承認された。

#### 7. 持続化給付金の申請について(資料6)

伊藤会計委員より、討論会が開催できないので本会として相当の減収となるため、申請をする旨の説明があった。また、申請書類は事務局に作成を依頼することとしたい。

以上、議論の上承認された。

#### 8. その他

庶務より入会者1名の審議依頼があり、承認された。

報告事項

なし。

以上の決議を明確にするため、この議事録を作成し、代表理事、監事及び常務委員長がこれに記名押印する。

令和2年9月18日

一般社団法人日本粘土学会 理事会・常務委員会

代表理事（会長） 小暮敏博 ⑩

代表理事（副会長） 中川昌治 ⑩

監事 月村勝宏 ⑩

監事 志々目正高 ⑩

常務委員長 佐藤 努 ⑩